

2022年5月20日発行 (54号 総会・理事会特集) 夕陽会広報部

東京都の新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」の終了宣言が、4月3日にあったが、一方、リバウンド警戒期間が5月22日迄延長された。

理事会は20名程度の会合なので、消毒・換気・三密に配慮し、検温・マスク着用のリアル形式で実施することに踏み切った。

4月18日19時から、大崎第一地域センター集会室で開催された。理事・監事合わせて30名の内、出席者21名、委任状8名、合計が半数以上となり理事会が成立。テキパキと効率よく議事進行がなされ、1時間弱で議題の全てが原案どおり可決・承認された。

総会は、4月25日の開催を予定していたが、東京都のコロナ患者数の下がり具合が期待ほど下がらず、かつ出席予定者(45名)と確保できた会場のスペースから【三密は避けられない】と判断し、急遽昨年と同様の【在宅総会】に切り替えた。

すなわち顔を合わすことなく、メールと紙ベースで連絡を取りながら、各議題の審議を行う方式である。4月25日出席予定者に連絡を入れ、バーチャルな【総会】を開催することにした。5月3日、参加者全員の回答が揃い、提案された全ての議案が可決・承認された。

2022年度 夕陽会定時総会議事

1. 2021年度の一般活動報告
2. 2021年度会計報告(2頁参照)
3. 2022年度 理事・監事および役員等の人事(3頁参照)
4. 2022年度の一般活動提案
5. 2022年度の予算提案(2頁参照)
6. その他
 - ・夕陽ヶ丘街づくり協議会活動報告(3頁参照)
 - ・前民生委員(柳沢雪子さん)に感謝状と寸志の贈呈
 - ・洪理事からの提案
 - 町会員のかねてからの要望【ラジオ体操をやりたい】が実現しそう。
 - 町会員である“EASE”が新設する“E-PARK”のスペースを利用できそう。
 - 今後、具体的な実現策を関係者と詰めたい。
 - ・退任された理事宮下神父からの提案(置き土産)
 - フェンス内**に設置されているプランターの積極的アピールを考えたら!

決算・予算 報告

【 収入の部】

項目	2022年度	2021年度	
	予算	決算	予算
町会費	1,750,000	1,712,100	1,750,000
補助金(区都)	720,000	1,188,000	720,000
雑収入(還付)	40,000	20,000	40,000
受取利息	0	27	0
小 計	2,510,000	2,920,127	2,510,000
前年繰越金	3,832,875	2,860,273	2,860,273
合 計	6,342,875	5,780,400	5,370,273

【 支出の部】

項目	2022年度	2021年度	
	予算	決算	予算
人件費(謝金)	250,000	120,000	250,000
防災対策	300,000	267,610	300,000
交通防犯対策	500,000	729,919	500,000
地域環境保全	300,000	114,330	10,000
青少年育成	150,000	71,000	150,000
敬老(慶弔)	140,000	135,740	140,000
諸寄付関係	100,000	15,000	250,000
渉外費	100,000	40,000	150,000
会議費	200,000	2,400	300,000
修繕費	10,000	0	10,000
印刷費	330,000	328,947	320,000
通信費	40,000	32,725	70,000
事務費	50,000	52,907	45,000
雑費	40,000	36,947	15,000
小 計	2,510,000	1,947,525	2,510,000
次年繰越金	3,832,875	3,832,875	2,860,273
合 計	6,342,875	5,780,400	5,370,273

■ 2021年度決算上のコメント

● 収支

町会活動は会員が参画するプロジェクトがコロナの影響で低調、百万円弱の黒字となった。

● 収入

- ①一部22年度ずれ込むが、町会費はほぼ予算通り。
- ②区から補助金は、物品購入などのプロジェクト申請で予想以上に増えた。

● 支出

- ①リアル総会、祭りや会合が軒並み中止となり、大幅な支出減となった。
- ②防犯対策費は予算をオーバーしたが、防犯カメラを1台新設したため。
ただし、来年度に、5/6が補助金とし補填される
- ③環境保全費も予算を大幅にオーバーした。ラビ目黒付近の山の手線・埼京線の騒音対策をJR東に申し入れたが、らちが明かず。弁護士の指導を受け始めたため。

□ 2022年度の予算について

○ 支出総額=収入総額 の方針のもと、総額は昨年予算を踏襲

- ①新型コロナの収束は見え、各種イベントの参加人数の制限・中止がどこまで続くか？
相当の支出減となる
- ②環境保全費を昨年度実績の3倍弱に積み上げた。弁護士指導が増えるの見込んでいる。
- ③防犯カメラ1基新設予定

2022年度夕陽会 理事・監事・役員／相談役

役職	氏名	役割分担・備考
会長	椎野 開八郎	
副会長	佐藤 至弘	広報 会計
副会長	杉野 秀子	防犯
副会長	塚田 晴子	出納 廃棄物減量推進
副会長	中村 胤夫	総務 防災
副会長	高橋 和宏	防災
副会長	佐久間 雅良	防犯
副会長	七澤 基	環境
副会長	斎藤 静子	青少年対策地区委員
監事	小川 大助	
監事	田中 稀一郎	
理事	新井 健一	
理事	鴻田 次章	
理事	杉山 敏朗	
理事	小谷 和晴	青少年対策地区委員
理事	石川 通敬	

役職	氏名	役割分担・備考
理事	片岡 恵子	
理事	伊東 銀水	
理事	澤原 義明	
理事	佐藤 直子	防災
理事	重枝 孝岳	健康づくり推進委員
理事	佐藤 美江	
理事	磯部 日出夫	
理事	長野 慎吉	
理事	柳澤 浩一	防災
理事	柳澤 雪子	青少年対策地区委員
理事	江井 仙佳	
理事	洪 愛舜	夕陽会子ども会
理事	荒木 鈴江	民生委員・児童委員
理事	アントニオ・カマチヨ(新任神父)	
理事	三富 宗	
理事	金滝 みゆき	
相談役	西 春雄	(前会長)

* 網掛は新任

★夕陽ヶ丘街づくり協議会 報告

◎ 2021年度実績

支出 庶務費支出：約0.1万円 繰り越し： 約 76万円
 事業費支出： 約35万円 繰り越し： 約 1,774万円

* 花と緑の支援25万円（3件）

◎ 2022年度計画

- [1] プランター（花と緑のプロムナード）花の植替え
- [2] ドレメ通り周辺 8か所の風観測継続
- [3] 住民交流支援

【4】新規事業計画

4-1 「街づくり勉強会」開催

東急グループから当地域への関心が寄せられており、昨年度意見交換会が3回開かれた。住民主導の街づくりを学ぶ機会を持ち、将来像を共有する機会としたい。

4-2 風観測継続と新規観測

従来の風観測は新たな出費を伴わないカタチで現在も進行中。（8箇所・11基）

4-3 井戸掘り——災害時に安心出来る水の確保

町内適所に場所を提供してもらい手押しポンプによる井戸を設置する。アクセスしやすい場所で、水脈に当たるところが見つけられるか否かが鍵となる。

■ 地域センター所長が交代

大崎第一地域センターの所長として、4月に新たに着任しました **山本秀志** と申します。

まだ至らない点が多いと思いますが、地域に早く溶け込めるよう、日々取り組んでまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。



大崎第一地域センター
新所長 **山本 秀志**

■ 災害研修会で学んだことと提案

● いつでも何処でも地震に備えよう

過日お配りした「**地震への備えは?!**」にもありますように、常日頃から「**今、地震が来たら**」と考え、すぐに**頭部**を保護し、机の下など近くの安全な場所を探す日頃の訓練が重要です。また心の訓練とともに基本的な生活の準備、最低でも**一週間分の飲料水・食料・乾電池等ミニマム生活物資**を、**個人**で確保しておきましょう。

● 大切な共助

- ①大きな災害に襲われたら、まず自分で危機を脱出（**自助**）
- ②そして近所の方々を助けたり、助けられたり（**共助**）
- ③それから社会の助けを待ちましょう（**公助**）

しかし、大災害の場合は、区や都の職員の方々も被害者です。すなわち公助はすぐには期待できません。品川区でも「大規模な震災時には、避難生活が長期化することが予想されます。自宅で居住継続が可能な場合は『**在宅避難**』を」と言っています。**自助**です。それをベースに成り立つのが**共助**です。

(高橋 和宏)

● 組織化の提案

復旧活動が始まると、区役所からの情報や物資は、町会が設けた**センター**に届く。マンションや法人は各自でセンターに行き対応できるが、戸建てはどうするか？ドレメ通りに例をとると、横道の各路地毎に10～15軒をグループ化し、そこに「**災害連絡係**」を設け、その当番をグループ内で毎年順送りする仕組み作りを提案する。すなわち、地震が起きた時に【災害連絡係】に当たった家庭は、積極的にご近所内での助け合いを先導し、センターとの連絡役を果たす。

若者は年寄りを助け、年寄りはおのことは自分でする努力をする。また男性より細かい気配りができるやさしい女性の活躍を期待する。

(塚田 晴子)